



FAIRTRADE  
JAPAN

# 国際フェアトレード認証取得の手引き

—国際フェアトレード認証の取得をお考えの方へ—

2022年8月

認定NPO法人フェアトレード・ラベル・ジャパン



# フェアトレード・ラベル・ジャパン 組織概要



Fairtrade Internationalの構成メンバーとして日本における認証・ライセンス事業、普及啓発事業を担う

## フェアトレード・インターナショナル

Fairtrade International

- 1997年設立
- 活動：フェアトレード基準策定、政策提言、生産者支援等
- 2016年より欧州委員会(EC)の戦略的パートナーとしてSDGs推進連携



## グローバルネットワーク

フェアトレード・インターナショナル本部 (ドイツ)

フェアトレード・ラベル・ジャパン (日本)



## フェアトレード・ラベル・ジャパン

Fairtrade Label Japan

- 1993年設立 認定NPO法人
- Fairtrade Internationalの構成メンバー
- 活動：認証・ライセンス事業、普及啓発事業



- 消費国メンバー（組織拠点あり）
- 生産国（生産国対象地域）
- 消費国メンバーかつ生産国

開発途上国 **72カ国**・**180万人以上**の生産者・労働者と**消費国30カ国**メンバーが参加するグローバルな取り組み



# 1. フェアトレード概要

## 2. 国際フェアトレード認証の仕組み

# フェアトレードとは

## Fairtrade

公正・適正な価格で取引すること

### 通常の貿易

- 市場価格の情報や販売先の選択肢の欠如により、末端の小規模生産者は、安く買い叩かれてしまう



### 引き起こされる問題

- 生産者の生活水準低下
- コスト削減を目的とした児童労働
- 過剰な農薬による環境破壊・健康被害

### フェアトレード —Fairtrade—

- 人と環境に配慮して生産されたものを適正な価格で取引し、持続可能な生産と生活向上を支援



### フェアトレードによる インパクト

- 適正価格の保証・プレミアムの支払
- 児童労働の禁止
- 環境に配慮した生産

# サプライチェーンに潜む課題

開発途上国の様々な社会・環境課題にフェアトレードは取り組む



児童労働

世界の子どもの**10人に1人**（1億6000万人）が、学校に通うことが出来ずに働かざるを得ない状況  
（出所：ILO）



貧困

世界で**7億人**以上が「極度の貧困」状態  
（出所：World Bank）



気候変動

気候変動でコーヒー豆(アラビカ種)の栽培地が  
2050年には**50%減少**  
（出所：The Climate Institute）



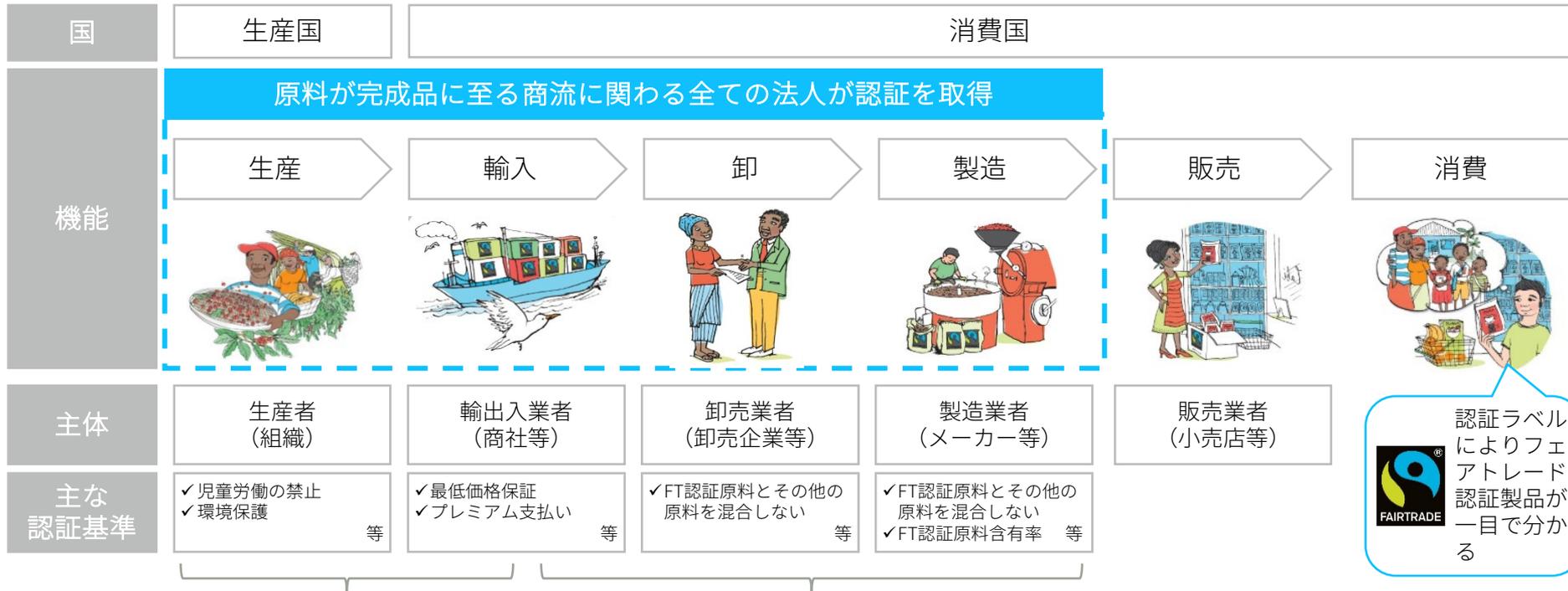
低い取引価格

世界のコーヒー小規模生産者の多くが  
**生産コストよりも低価格**でコーヒー豆を販売

# 国際フェアトレード認証の仕組み



国際フェアトレード認証は、サプライチェーン全体を通して  
国際フェアトレード基準を満たしていることを認証し、ラベルを貼付する仕組み



認証ラベルによりフェアトレード認証製品が一目で分かる



認証機関FLOCERTが  
監査・認証を実施

フェアトレード・ラベル・ジャパン (FLJ) が  
監査・認証を実施

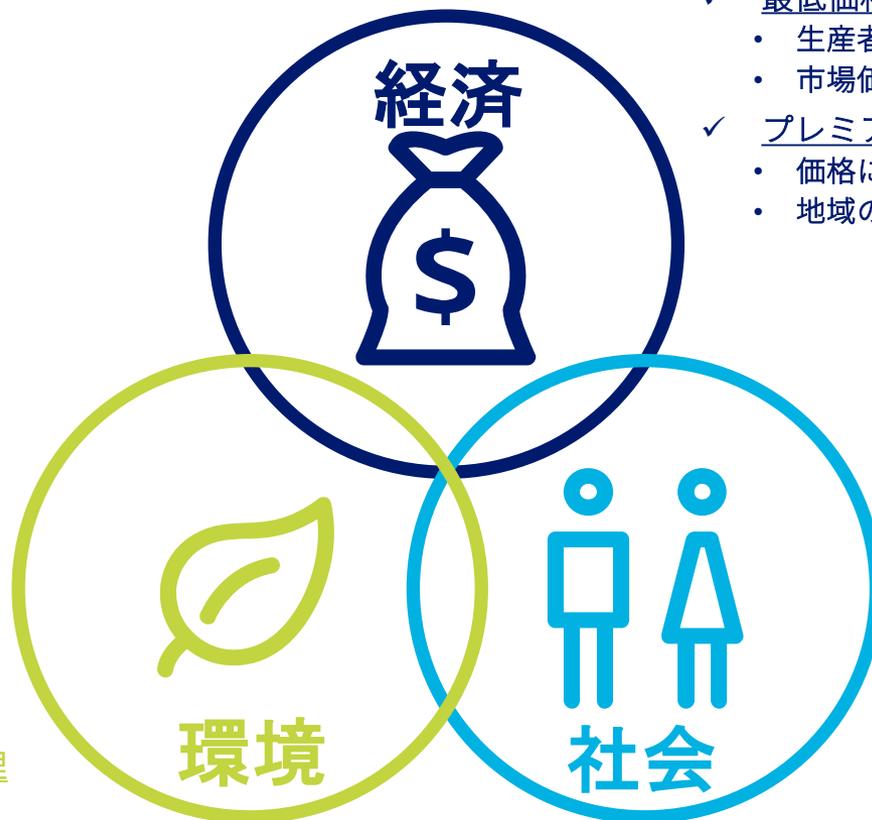


ISO17065(製品認証機関の認定基準)に則した監査・認証制度

※ FLOCERT・FLJともに、Fairtrade Internationalが設定する国際基準に基づき監査・認証を実施  
 ※ 海外でフェアトレード認証された最終製品を輸入・販売する事業者は、フェアトレード・ラベル・ジャパンへの登録をお願いしています

# 国際フェアトレード認証の基準

国際フェアトレード基準は、経済・社会・環境の3つの側面からなる



- ✓ 最低価格の保証
  - 生産者に対する適正価格を確保
  - 市場価格暴落の際も、生産者の生活を保障
- ✓ プレミアムの支払
  - 価格に上乗せして生産者組織に支払う
  - 地域の経済・社会・環境的開発のために使用

- ✓ 農薬の使用削減・管理
- ✓ 土壌・水源の保全
- ✓ 有機栽培の奨励

- ✓ 児童労働・強制労働の禁止
- ✓ 安全な労働環境

# 国際フェアトレード認証対象産品一覧（主要なもの）

搾取や児童労働等が起こりやすい産品を中心に、様々な産品が対象



水色字：国内で流通中の品目

✓ コーヒー	コーヒー
✓ カカオ	チョコレート、ココアパウダー等
✓ 茶	紅茶、緑茶、烏龍茶等
✓ はちみつ	はちみつ
✓ ナッツ	アーモンド、カシューナッツ、マカデミアナッツ、ピーナッツ、くるみ等
✓ オイル・オイルシード (食品/コスメ)	ココナッツ、ココナッツオイル、オリーブ、オリーブオイル、ゴマ、ゴマ油、シアバター、大豆、アルガン油等
✓ 穀物	キヌア、米等
✓ 生鮮果物	バナナ、グレープフルーツ、レモン、ライチ、マンゴー、パイナップル等
✓ 野菜	アボカド、じゃがいも、豆類も含む
✓ 加工果物・野菜	ドライフルーツ・野菜、フルーツジュース、ワイン等
✓ ハーブ、スパイス (調味料/ハーブティー)	コショウ、シナモン、ジンジャー、カルダモン、クローブ、ターメリック（→カレーパウダー）、サフラン、カモミール、ルイボス、ミント、バニラ等
✓ 砂糖	砂糖、ジャム、クッキー、ティラミス等
✓ コットン	Tシャツ、ポロシャツ、靴下、タオル、バッグ、エプロン等
✓ 花・植物	バラ等
✓ スポーツボール	サッカーボール、バレーボール等

# 国際フェアトレード対象国・地域

経済的・社会的要素を考慮し、開発途上国を中心に多くの国が対象



---

## アジア・太平洋

- ・ 東アジア : 中国、北朝鮮、モンゴル
- ・ 南アジア : バングラデシュ、インド、イラン、パキスタン、スリランカ等
- ・ 東南アジア : カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、タイ、東ティモール、ベトナム等
- ・ 西アジア : アルメニア、アゼルバイジャン、ジョージア等
- ・ 中央アジア : カザフスタン、キルギス、タジキスタン、ウズベキスタン等
- ・ 環太平洋諸国 : フィジー、パプアニューギニア、ミクロネシア等

---

## アフリカ・中東

- ・ 北アフリカ : アルジェリア、エジプト、リビア、モロッコ、スーダン等
- ・ 中東 : イラク、ヨルダン、レバノン、パレスチナ、シリア等
- ・ 西アフリカ : カメルーン、コートジボワール、ガーナ、ナイジェリア等
- ・ 東アフリカ : エチオピア、ケニア、ルワンダ、ウガンダ、タンザニア等
- ・ 南アフリカ : マラウィ、モザンビーク、南アフリカ、ザンビア等

---

## ラテンアメリカ・カリブ地域

- ・ 中央アメリカ : ブラジル、コスタリカ、エルサルバドル、グアテマラ、メキシコ、ニカラグア、パナマ、ホンジュラス等
- ・ カリブ地域 : キューバ、ドミニカ共和国、ハイチ等
- ・ 南アメリカ : アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、チリ、コロンビア、エクアドル、ペルー、ウルグアイ、ベネズエラ等

世界の貿易構造において不利な立場におかれた生産者にとって、より公平・公正な取引条件を促進することを目指しています。そのため、国民一人当たりの収入レベルや経済格差、そのほか経済的・社会的な要素を考慮して、どの国・地域の生産者を認証対象とするか方針を定めています。主には開発途上国とよばれる国々が、生産国としての認証対象となっています。

出所：<https://www.fairtrade.net/standard/fairtrade-standards>

# 最低価格保証、プレミアムの仕組み<アラビカコーヒー>



フェアトレード価格

ニューヨーク市場価格

市場価格が暴落しても、生産者の生活を保障する仕組み

フェアトレード最低価格  
+  
プレミアム

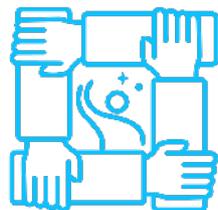


フェアトレード最低価格（アラビカwashed）：140USセント/ポンド  
有機認証の場合の上乗せ：30USセント/ポンド

+ プレミアム  
20USセント/ポンド

# フェアトレードによる生産者へのインパクト

フェアトレード市場の広がりにより生産地にプラスの変化を実現



**1,880 fairtrade certified producer organizations in 71 Countries**

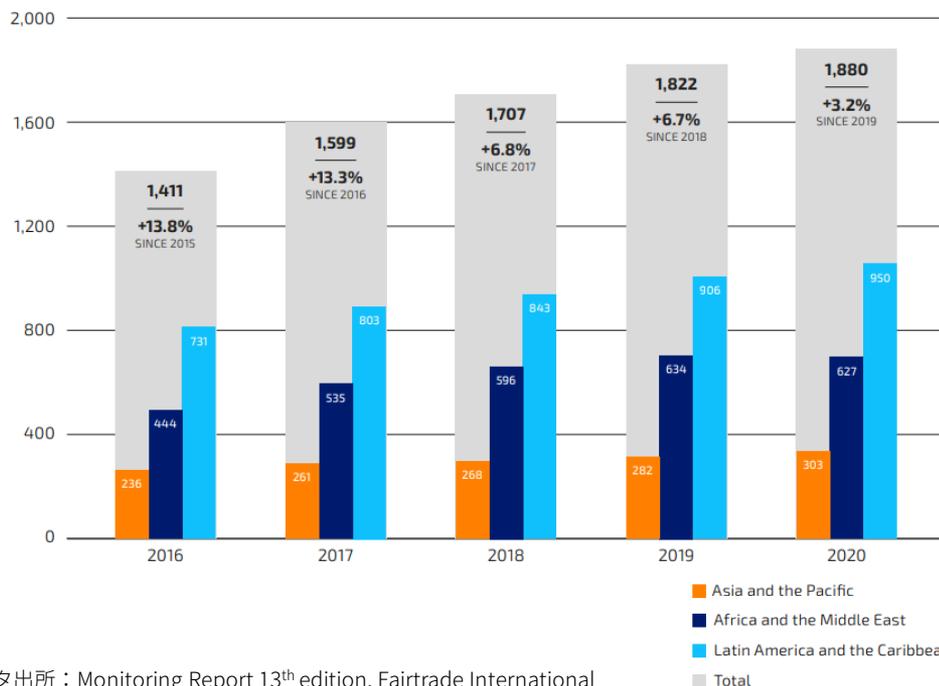
世界71か国の  
1,880の生産者組織が参加



**More than 1.9 Million Farmers & Workers**

世界190万人以上の  
生産者・労働者が参加

フェアトレード認証生産者組織数推移  
(2016~2020年)



生産者に支払われたフェアトレード  
プレミアム総額 (2020年)



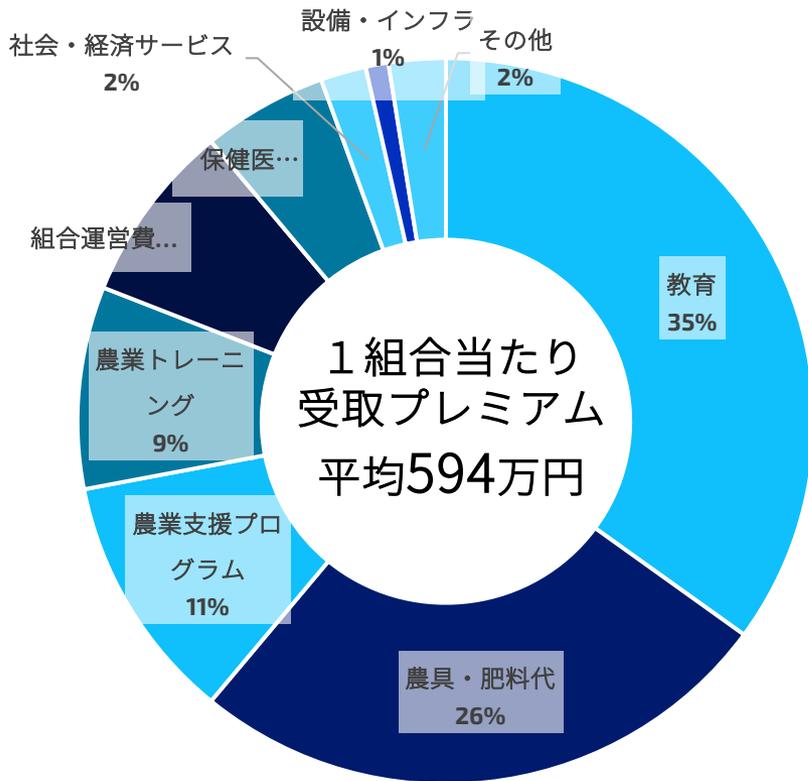
1生産者組織あたり  
受領プレミアム平均額€101,596  
(約1,240万円)

# フェアトレードによる生産者へのインパクト<一例>



コットン生産者組織には、年間平均594万円のプレミアムが支払われ、地域の子ども達の教育や保健医療、農業生産の品質改善等に使われた

1組合あたりプレミアムの使途内訳  
(コットン生産者・2015年)



プレミアムでできること (例)

<p>教育 35% (約208万円)</p>	<p>学校 3教室 建設</p> <p>Photo: Kate Fishpool / Fairtrade Foundation</p>
<p>農具・肥料代 26% (約154万円)</p>	<p>トラクター 14台 購入</p> <p>Photo: Fairtrade International</p>
<p>農業支援プログラム 11% (約65万円)</p>	<p>生産者1500 人分 種子の生産</p> <p>Photo: Fairtrade International</p>
<p>保健・医療 6% (約33万円)</p>	<p>ワクチン 4000回分 感染症対策の 蚊帳 500個</p> <p>Photo: UNICEF</p>

データ出所  
※プレミアムの金額：Fairtrade International Scope and benefits of fairtrade monitoring report 9th Editionより試算（2018年8月為替レートを使用）  
※プレミアムでできることの事例：FLOCERT audit report, Unicef及びWorld Bank等の公表数値を参考値として試算

# 国連SDGsとフェアトレード



## フェアトレードはSDGsの17の目標全ての達成に貢献 欧州委員会との戦略的パートナーシップ

- フェアトレードはSDGsの17の目標全ての達成に貢献。中でも特に8つの目標への貢献度が高い

- SDGs達成に向けて欧州委員会と戦略的パートナーシップを締結

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### 【フェアトレードが特に大きく貢献するSDGs目標】

- |   |  |
|---|--|
| <p><b>1 貧困をなくそう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>貧困削減</b></li> <li>・生産者と労働者の生活保障により貢献</li> </ul>                 | <p><b>12 つくる責任 つかう責任</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>持続可能な消費と生産</b></li> <li>・環境や生産者の生活に配慮した生産・消費促進により貢献</li> </ul>    |
| <p><b>2 飢餓をゼロに</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>飢餓撲滅</b></li> <li>・生産者と労働者の生活保障により貢献</li> </ul>                  | <p><b>13 気候変動に具体的な対策を</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>気候変動への対策</b></li> <li>・土壌や水源の保全、電力使用削減基準等により貢献</li> </ul>        |
| <p><b>5 ジェンダー平等を實現しよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>ジェンダー平等</b></li> <li>・プレミアム（奨励金）の女性支援への活用により貢献</li> </ul> | <p><b>16 平和と公正をすべての人に</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>平和と司法へのアクセス</b></li> <li>・生産者を教育し企業・政府への発言力を養成する事等で貢献</li> </ul> |
| <p><b>8 働きがいも 豊かさも 増やそう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>労働環境</b></li> <li>・労働環境配慮や児童労働禁止等の基準により貢献</li> </ul>    | <p><b>17 パートナーシップで目標を達成しよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>パートナーシップ</b></li> <li>・生産者・企業・政府の連携を促すことで貢献</li> </ul>      |



**【欧州委員会×Fairtrade International  
パートナーシップ概要】**

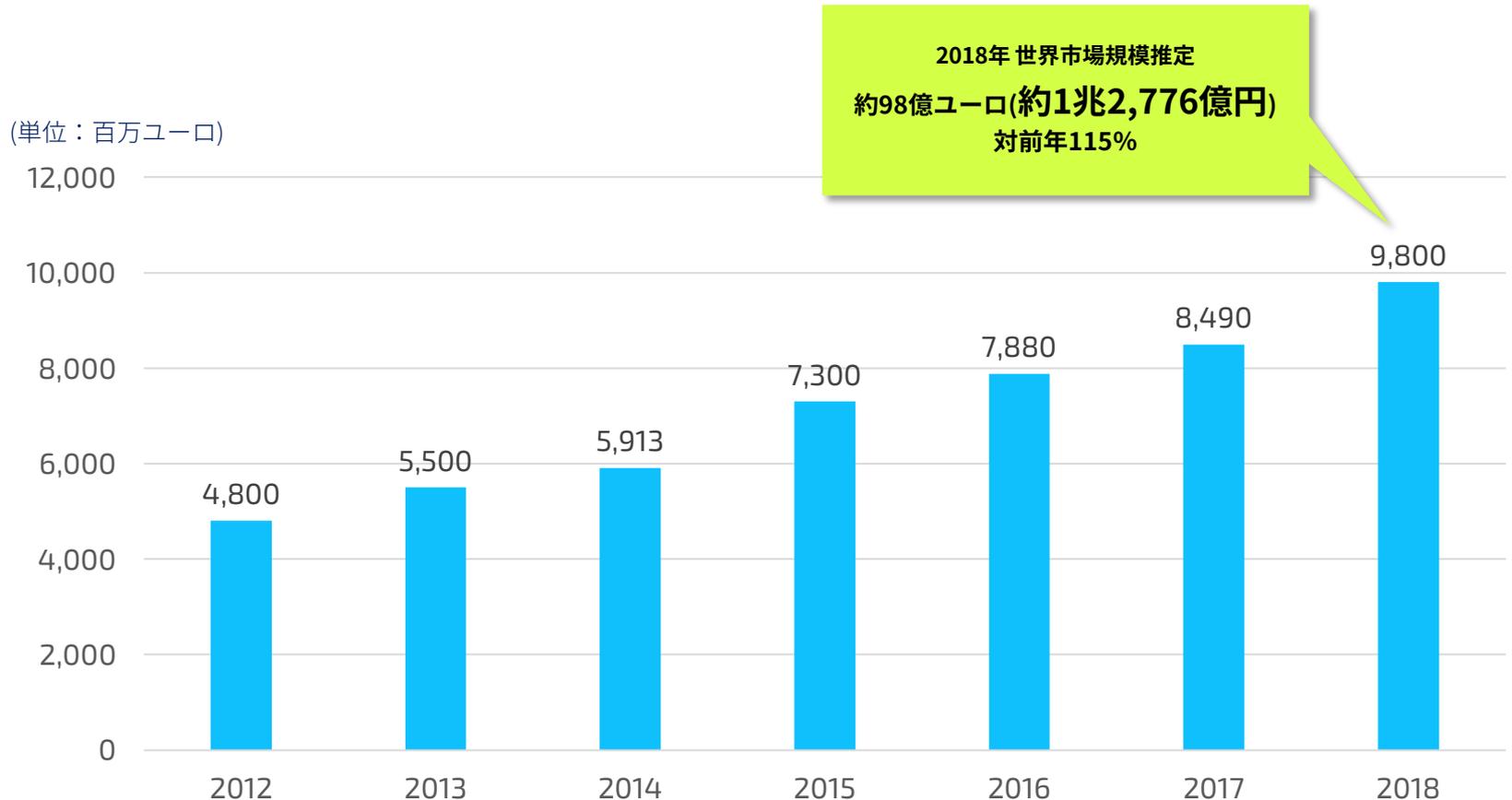
◇ プロジェクト期間： 2016年-2020年  
2019年-2023年

◇ 目的

1. フェアトレード生産者組織の組織力強化
2. 貿易の公正化に向けた政策・方針づくり
3. グローバルなフェアトレード・システムを確立する

# フェアトレード認証製品 グローバル市場規模推移

## グローバル市場規模は毎年大きく拡大



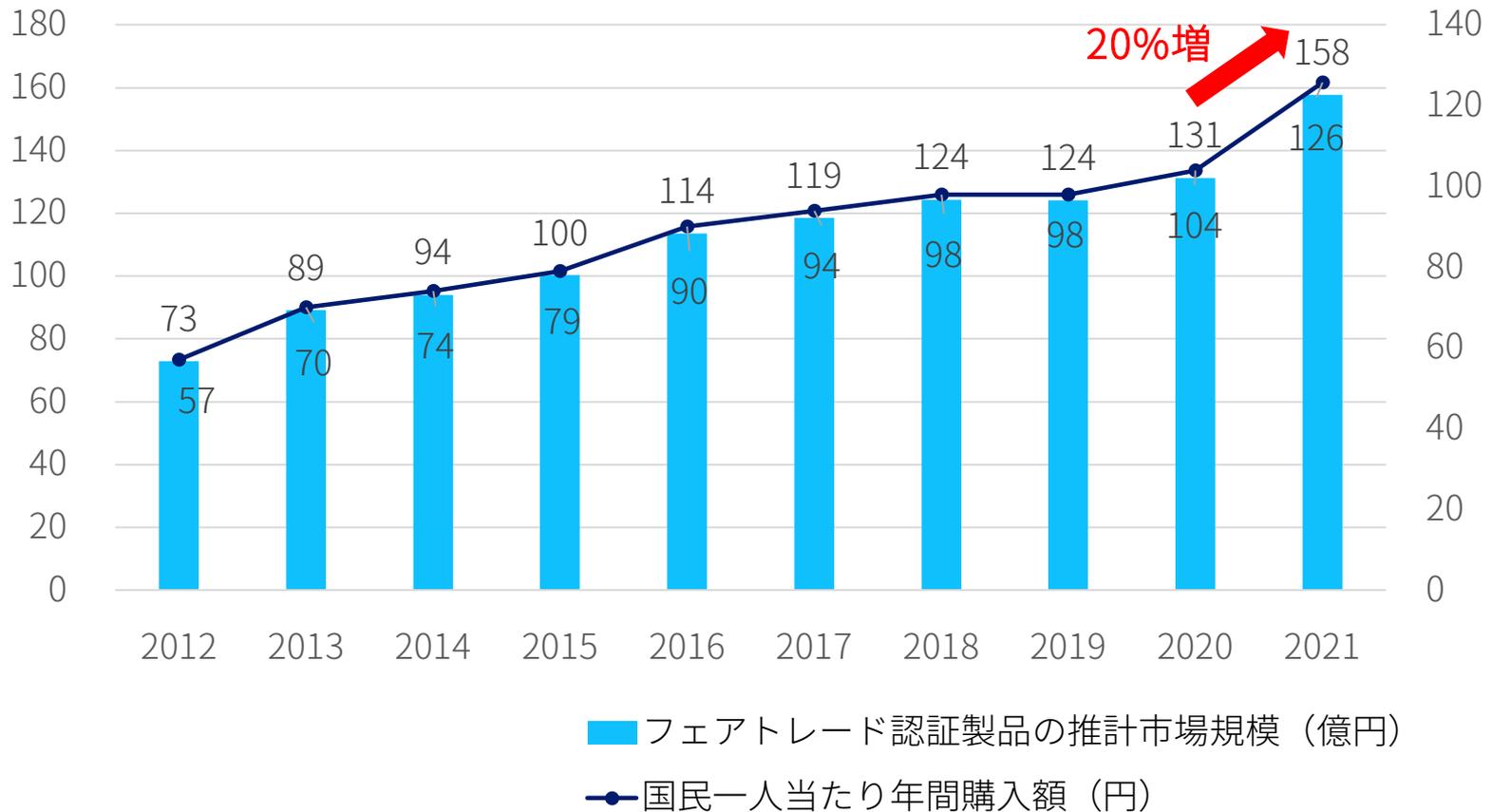
Fairtrade International年次報告をもとに認定NPO法人フェアトレード・ラベル・ジャパンがグラフ作成

# 年々成長する国内フェアトレード市場

## 2021年は対前年比20%増の約158億円



フェアトレード認証製品推計市場規模と国民一人当たりの年間購入額推移



認証基準に従い、フェアトレード認証製品販売事業者から報告された販売数値をもとにフェアトレード・ラベル・ジャパンが集計しグラフ作成



# 1. フェアトレード概要

## 2. 国際フェアトレード認証の仕組み

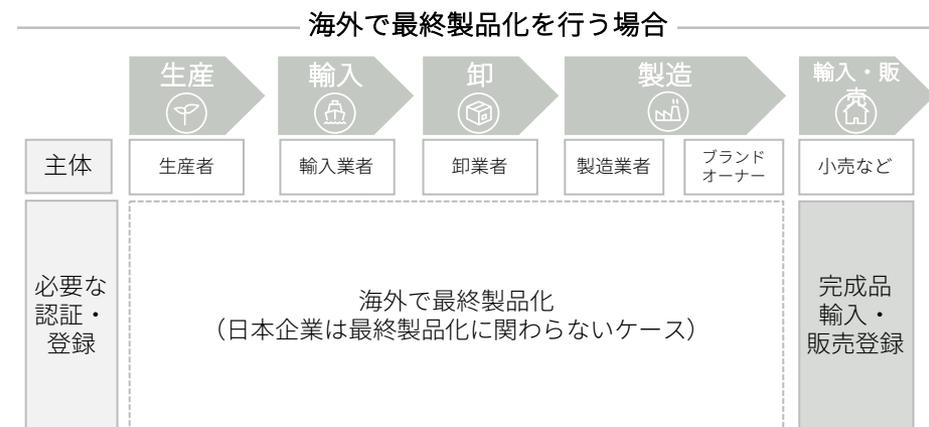
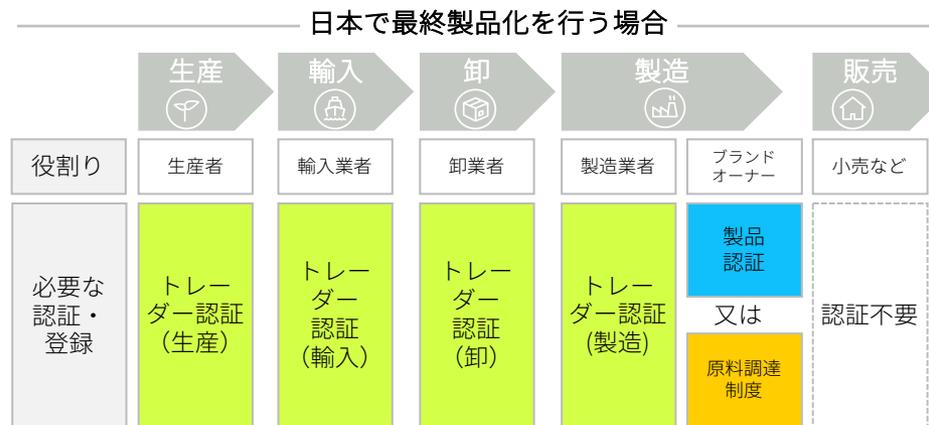
# 国際フェアトレード認証の全体像



## 【国際フェアトレード認証サービスの全体像】

	サービス	対象	内容
国際フェアトレード認証	トレーダー認証 (輸入・卸・製造)	輸入・卸・製造事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者が、基準を満たして認証製品・原料の輸入・卸・製造を行うことを認証</li> </ul>
	製品認証 (ライセンス認証)	ブランドオーナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品が、認証製品であるための基準を満たすことを認証</li> <li>事業者が、認証製品に認証ラベルを貼付することを許可</li> </ul>
	国際フェアトレード原料調達制度 (FSI)	ブランドオーナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者が、認証原料の調達拡大目標を設定・宣言し、長期的に調達量の拡大を目指す制度</li> </ul>
登録	完成品輸入・販売登録	完成品の輸入・販売事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外で最終製品化され、認証された製品を輸入・販売することを登録</li> </ul>

## 【サプライチェーンの各主体に必要な認証・登録例】



※国際フェアトレード認証は、原料が最終製品化するまでに原料・製品の所有権を保持する組織が取得する必要があります

※国際フェアトレード原料調達制度は、ブランドオーナーが取得するケースが大半ですが、輸入・卸・製造事業者も取得可能です

国際フェアトレード認証

トレーダー認証：輸入

# 国際フェアトレード認証（輸入）

原料が最終製品になるまでに原料・製品の所有権を持つ（＝原料の売買を行う）組織は認証を取得する必要があります

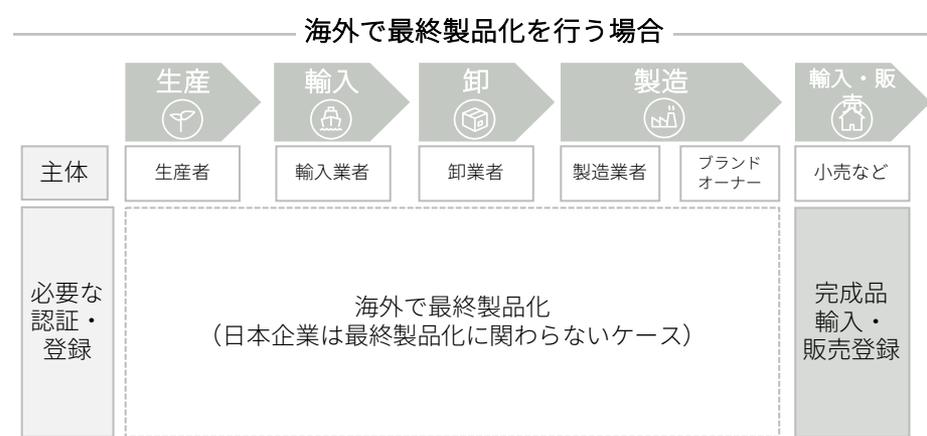
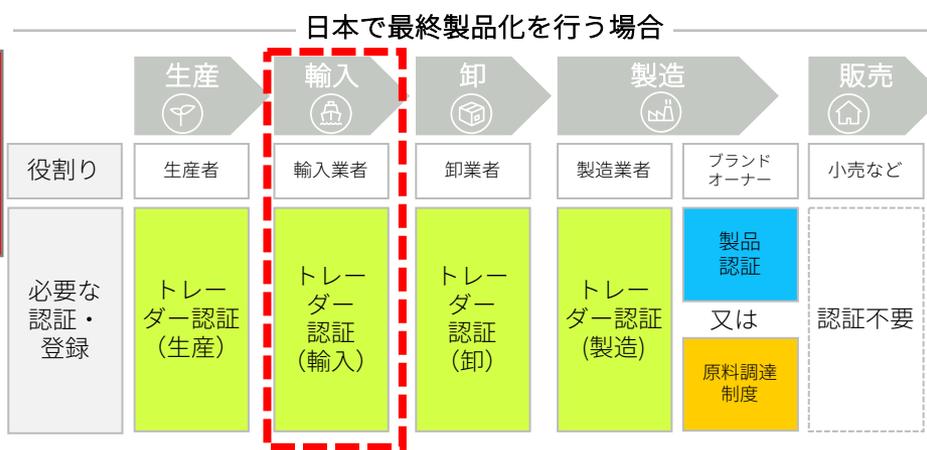


【国際フェアトレード認証サービスの全体像】

【サプライチェーンの各主体に必要な認証・登録例】

	サービス	対象	内容
国際フェアトレード認証	トレーダー認証 (輸入・卸・製造)	輸入・卸・製造事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者が、基準を満たして認証製品・原料の輸入・卸・製造を行うことを認証</li> </ul>
	製品認証 (ライセンス認証)	ブランドオーナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品が、認証製品であるための基準を満たすことを認証</li> <li>事業者が、認証製品に認証ラベルを貼付することを許可</li> </ul>
	国際フェアトレード原料調達制度 (FSI)	ブランドオーナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者が、認証原料の調達拡大目標を設定・宣言し、長期的に調達量の拡大を目指す制度</li> </ul>
登録	完成品輸入・販売登録	完成品の輸入・販売事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外で最終製品化され、認証された製品を輸入・販売することを登録</li> </ul>

★今回ご紹介



※国際フェアトレード認証は、原料が最終製品化するまでに原料・製品の所有権を保持する組織が取得する必要があります

※国際フェアトレード原料調達制度は、ブランドオーナーが取得するケースが大半ですが、輸入・卸・製造事業者も取得可能です

トレーダー認証（輸入）は、貴社が国際フェアトレード基準を満たして生産者から原料を調達していることを認証するサービスです

## サービス

### ■ 国際フェアトレード認証（輸入）

- 貴社が国際フェアトレード基準を満たして、生産者から原料を調達していることを認証します



### ■ その他連携サービス

- 弊団体ステークホルダー会合への参加
- 販路開拓・プロモーションに係るご相談対応
- 社内教育施策への協力



※1 茶、カカオ、ジュース、砂糖は書類上のトレーサビリティのみが要求されています

## 認証の詳細

【フェアトレード サプライチェーン上の位置づけ】



### 主な基準

#### ■ 認証原料・製品の物理的分別 (※1)

- ✓ サプライチェーンの全ての段階において、認証原料(製品)を非認証原料(製品)と物理的に分別すること

#### ■ フェアトレード最低価格保証

- ✓ 市場価格とフェアトレード最低価格のうち、高額な方の金額を生産者に対して支払う

#### ■ プレミアムの支払

- ✓ 価格に上乗せして、フェアトレードプレミアムを支払う

**A**  
詳細

### フェアトレード開始までの手続き期間

#### ■ 約2か月

FT原料・製品の取扱い開始後最大9か月間は「仮認証」となり、初回監査を経て「認証取得」となります。

**B**  
詳細

### 費用

- 初回認証料
- 年間認証料

**C**  
詳細

# 国際フェアトレード認証（トレーダー認証：製造）の基準

## 国際フェアトレード基準の全体像と 輸入業者に適用される基準

## 具体的な基準の例

- 1 一般要求事項 ✓ ... 本認証に適用される基準
- 1.1 認証原料(製品)の取扱いの権利 ✓
- 1.2 国際フェアトレード認証ラベルの使用 ✓
- 2 取引
- 2.1 トレーサビリティ ✓
- 2.2 製品の配合割合 ✓
- 3 生産
- 3.1 労働者の権利 ✓
- 3.2 環境保護 ✓
- 4 ビジネスと発展
- 4.1 契約 ✓
- 4.2 価格とフェアトレードプレミアム ✓
- 4.3 タイムリーな支払い ✓
- 4.4 融資へのアクセス ✓
- 4.5 計画のための調達及び市場情報 ✓
- 4.6 リスクの共有 ✓
- 4.7 能力・組織基盤の強化 ✓
- 4.8 誠実に行われる取引 ✓

- 1.1.2. 監査の受け入れ
- ✓ 自社施設に対する告知あり/なしの監査を受け入れ、監査人に要求された情報開示を行うこと

- 2.1.1. 認証原料（製品）書類上の識別
- ✓ 購入と販売の書類（例：送り状、納品書、注文書）において、認証原料（製品）をフェアトレードとして明確に識別すること

- 2.1.3. 認証原料(製品)の物理的な分別
- ✓ サプライチェーンのすべての段階において、認証原料(製品)を非認証原料(製品)と物理的に分別すること

- 4.2.1. フェアトレード最低価格保証
- ✓ 市場価格とフェアトレード最低価格のうち、高額な方の金額を生産者に対して支払う
    - フェアトレード最低価格は、価格データベースで定められている

- 2.1.3. プレミアムの支払
- ✓ 価格に上乗せして、フェアトレードプレミアムを支払うこと。プレミアムはいかなる場合も値引きをしてはならない
    - プレミアムの金額は、価格データベースで定められている

※上記基準のうち、本認証に適用されない基準は、サプライチェーン上の貴社以外の組織が、他に認証を通じて遵守することで、フェアトレードを成り立たせています

- 認証製品・原料の取引開始までの手続に約2か月要し、契約締結後は報告や監査の受け入れが必要となります

## 認証製品の取引開始まで

1	申請書類の提出	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 下記の申請書類をメールでFLJに提出           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 様式A（国際フェアトレード認証申請書）</li> <li>➢ 様式K（認証に関する内容確認書）※原本又はスキャンファイル</li> <li>➢ 添付文書               <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人の登記簿謄本（コピー又はスキャンファイル）</li> <li>・事業概要がわかる書類（会社案内、パンフレット、活動報告書など）</li> <li>・会社全体の年間総売上高が確認できる書類</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
2	認証契約書の内容確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 書類審査後、FLJから送付される契約書の内容を確認する</li> </ul>
3	初回認証料の振込(契約締結)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 送付される請求書に従って、初回認証料を振込む（契約締結）</li> </ul>
4	契約書・仮認証書の受領	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 契約書、及び仮認証書が送付される（電子署名）</li> </ul>

国際フェアトレード基準を順守して、原料調達、製造、販売を開始

## 認証製品の取引開始後

時期	手続
1~2年毎	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 監査の受け入れ           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1~2年毎に、実地又は書類による監査を実施致します（認証サイクルは3年です）</li> <li>・ 初回監査は、左記4.仮認証書の発行後6か月以内に実施します</li> </ul> </li> </ul>
監査の時	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 原料購入・製造数量の報告           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ フェアトレード製品の原料購入・製造量に関して、指定のフォーマットで報告して頂きます</li> </ul> </li> </ul>
新規FT製品取扱い開始時	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 製品申請（※ライセンスより委任された場合）           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規製品が国際フェアトレード基準を満たすが審査するため、申請が必要となります</li> <li>・ 新規製品のレシピ等に関する申請と、パッケージのラベル使用に関する申請をオンラインでして頂きます</li> </ul> </li> </ul>

## 国際フェアトレード認証（トレーダー認証：輸入・卸・製造）の認証費用

- 年間総売上高は企業全体の売上高を指します
- 年間認証料には監査費用が含まれます
- 追加製品とは、コーヒー、紅茶、カカオなどのカテゴリーを指します
- トレーダー認証に加えてライセンスも取得する場合、製造認証の「初回認証料」は免除されます
- トレーダー認証の役割（輸入・製造・卸・製造）を複数兼務する場合でも料金は同じです

	費用(税抜き)			お支払の タイミング
	年間総売上高 100億円以上	年間総売上高 1億円以上100億円未満	年間総売上高 1億円未満	
初回認証料	20万円 (追加製品ごとに+3万円)	15万円 (追加製品ごとに+2万円)	5万円 (追加製品ごとに+1万円)	契約締結時
年間認証料	15万円 (追加製品ごとに+3万円)	12万円 (追加製品ごとに+2万円)	5万円 (追加製品ごとに+1万円)	毎年1月

国際フェアトレード認証

トレーダー認証：卸

# 国際フェアトレード認証（卸）

原料が最終製品になるまでに原料・製品の所有権を持つ（＝原料の売買を行う）組織は認証を取得する必要があります

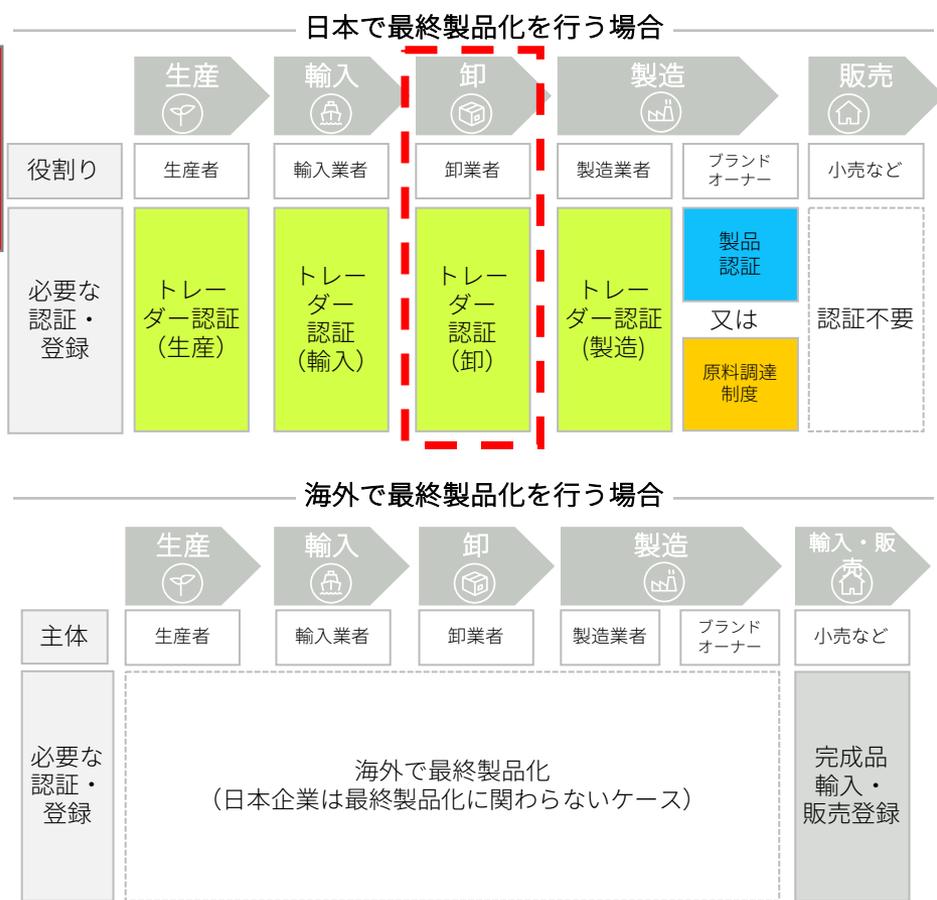


【国際フェアトレード認証サービスの全体像】

	サービス	対象	内容
国際フェアトレード認証	トレーダー認証 (輸入・卸・製造)	輸入・卸・製造事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者が、基準を満たして認証製品・原料の輸入・卸・製造を行うことを認証</li> </ul>
	製品認証 (ライセンス認証)	ブランドオーナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品が、認証製品であるための基準を満たすことを認証</li> <li>事業者が、認証製品に認証ラベルを貼付することを許可</li> </ul>
	国際フェアトレード原料調達制度 (FSI)	ブランドオーナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者が、認証原料の調達拡大目標を設定・宣言し、長期的に調達量の拡大を目指す制度</li> </ul>
登録	完成品輸入・販売登録	完成品の輸入・販売事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外で最終製品化され、認証された製品を輸入・販売することを登録</li> </ul>

★今回紹介

【サプライチェーンの各主体に必要な認証・登録例】



※国際フェアトレード認証は、原料が最終製品化するまでに原料・製品の所有権を保持する組織が取得する必要があります

※国際フェアトレード原料調達制度は、ブランドオーナーが取得するケースが大半ですが、輸入・卸・製造事業者も取得可能です

## 国際フェアトレード認証（トレーダー認証：卸）

トレーダー認証（卸）は、貴社が国際フェアトレード基準を満たして  
[卸]を実施していることを認証するサービスです

### サービス

#### ■ 国際フェアトレード認証（卸）

- 貴社が国際フェアトレード基準を満たして認証原料を卸売りしていることを認証します



#### ■ その他連携サービス

- 弊団体ステークホルダー会合への参加
- 販路開拓・プロモーションに係るご相談対応
- 社内教育施策への協力



※1 茶、カカオ、ジュース、砂糖は書類上のトレーサビリティのみが要求されています

### 認証の詳細

【フェアトレードサプライチェーン上の位置づけ】



#### 主な基準

##### ■ 認証原料・製品の物理的分別（※1）

- ✓ サプライチェーンの全ての段階において、認証原料(製品)を非認証原料(製品)と物理的に分別すること

A  
詳細

##### ■ 国際・国内労働法の遵守

- ✓ 国際労働機関（ILO）の協定及び国内の労働法について、違反の兆候がないこと

#### フェアトレード 開始までの 手続き期間

##### ■ 約2か月

FT原料・製品の取扱い開始後最大9か月間は「仮認証」となり、仮認証から約6か月以内に実施される初回監査を経て「認証取得」となります。

B  
詳細

#### 費用

- 初回認証料
- 年間認証料

C  
詳細

# 国際フェアトレード認証（トレーダー認証：卸）の基準

## 国際フェアトレード基準の全体像と卸業者に適用される基準

## 具体的な基準の例

- 1 一般要求事項 ✓ ... 本認証に適用される基準
- 1.1 認証原料(製品)の取扱いの権利 ✓
- 1.2 国際フェアトレード認証ラベルの使用 ✓
- 2 取引
- 2.1 トレーサビリティ ✓
- 2.2 製品の配合割合
- 3 生産
- 3.1 労働者の権利 ✓
- 3.2 環境保護 ✓
- 4 ビジネスと発展
- 4.1 契約
- 4.2 価格とフェアトレードプレミアム
- 4.3 タイムリーな支払い
- 4.4 融資へのアクセス ✓
- 4.5 計画のための調達及び市場情報 ✓
- 4.6 リスクの共有
- 4.7 能力・組織基盤の強化 ✓
- 4.8 誠実に行われる取引 ✓

### 1.1.2. 監査の受け入れ

- ✓ 自社施設に対する告知あり/なしの監査を受け入れ、監査人に要求された情報開示を行うこと

### 2.1.1. 認証原料（製品）書類上の識別

- ✓ 購入と販売の書類（例：送り状、納品書、注文書）において、認証原料（製品）をフェアトレードとして明確に識別すること

### 2.1.3. 認証原料（製品）の物理的な分別

- ✓ サプライチェーンのすべての段階において、認証原料(製品)を非認証原料(製品)と物理的に分別すること

### 3.1.1. 国際・国内労働法の遵守

- ✓ 国際労働機関（ILO）の協定及び国内の労働法について、違反の兆候がないこと

### 3.1.1. 環境法の遵守

- ✓ 国内で適用される環境法規を認識していること（法規に従って、環境保護の指針や行動計画を定めている等）

※上記基準のうち、本認証に適用されない基準は、サプライチェーン上の貴社以外の組織が、他に認証を通じて遵守することで、フェアトレードを成り立たせています

- 認証製品・原料の取引開始までの手続に約2か月要し、契約締結後は報告や監査の受け入れが必要となります

## 認証製品の取引開始まで

1	申請書類の提出	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 下記の申請書類をメールでFLJに提出           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 様式A（国際フェアトレード認証申請書）</li> <li>➢ 様式K（認証に関する内容確認書）※原本又はスキャンファイル</li> <li>➢ 添付文書               <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人の登記簿謄本（コピー又はスキャンファイル）</li> <li>・事業概要がわかる書類（会社案内、パンフレット、活動報告書など）</li> <li>・会社全体の年間総売上高が確認できる書類</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
2	認証契約書の内容確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 書類審査後、FLJから送付される契約書の内容を確認する</li> </ul>
3	初回認証料の振込(契約締結)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 送付される請求書に従って、初回認証料を振込む（契約締結）</li> </ul>
4	契約書・仮認証書の受領	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 契約書、及び仮認証書が送付される（電子署名）</li> </ul>

国際フェアトレード基準を順守して、原料調達、製造、販売を開始

## 認証製品の取引開始後

時期	手続
1~2年毎	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 監査の受け入れ           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1~2年毎に、実地又は書類による監査を実施致します（認証サイクルは3年です）</li> <li>・ 初回監査は、左記4.仮認証書の発行後6か月以内に実施します</li> </ul> </li> </ul>
監査の時	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 原料購入・製造数量の報告           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ フェアトレード製品の原料購入・製造量に関して、指定のフォーマットで報告して頂きます</li> </ul> </li> </ul>
新規FT製品取扱い開始時	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 製品申請（※ライセンスより委任された場合）           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規製品が国際フェアトレード基準を満たすが審査するため、申請が必要となります</li> <li>・ 新規製品のレシピ等に関する申請と、パッケージのラベル使用に関する申請をオンラインでして頂きます</li> </ul> </li> </ul>

## 国際フェアトレード認証（トレーダー認証：輸入・卸・製造）の認証費用

- 年間総売上高は企業全体の売上高を指します
- 年間認証料には監査費用が含まれます
- 追加製品とは、コーヒー、紅茶、カカオなどのカテゴリーを指します
- トレーダー認証に加えてライセンスも取得する場合、製造認証の「初回認証料」は免除されます
- トレーダー認証の役割（輸入・製造・卸・製造）を複数兼務する場合でも料金は同じです

	費用(税抜き)			お支払の タイミング
	年間総売上高 100億円以上	年間総売上高 1億円以上100億円未満	年間総売上高 1億円未満	
初回認証料	20万円 (追加製品ごとに+3万円)	15万円 (追加製品ごとに+2万円)	5万円 (追加製品ごとに+1万円)	契約締結時
年間認証料	15万円 (追加製品ごとに+3万円)	12万円 (追加製品ごとに+2万円)	5万円 (追加製品ごとに+1万円)	毎年1月

国際フェアトレード認証

**トレーダー認証：製造**

# 国際フェアトレード認証（製造）

原料が最終製品になるまでに原料・製品の所有権を持つ（＝原料の売買を行う）組織は認証を取得する必要があります

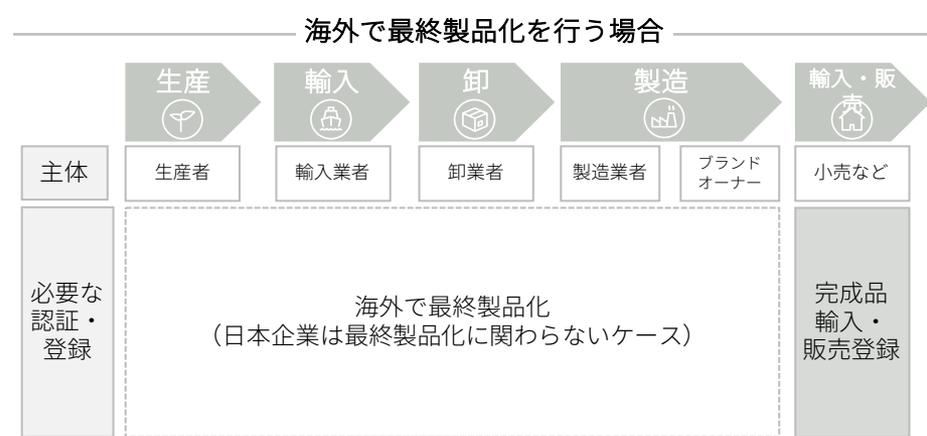
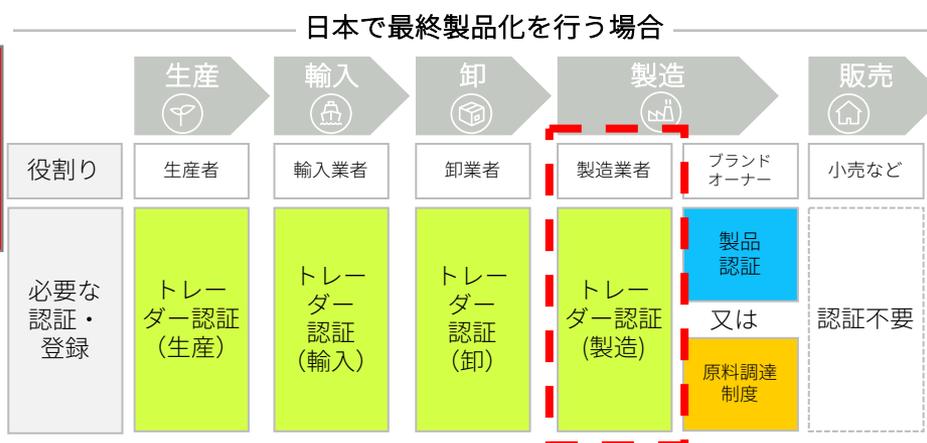


【国際フェアトレード認証サービスの全体像】

【サプライチェーンの各主体に必要な認証・登録例】

	サービス	対象	内容
国際フェアトレード認証	トレーダー認証 (輸入・卸・製造)	輸入・卸・製造事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者が、基準を満たして認証製品・原料の輸入・卸・製造を行うことを認証</li> </ul>
	製品認証 (ライセンス認証)	ブランドオーナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品が、認証製品であるための基準を満たすことを認証</li> <li>事業者が、認証製品に認証ラベルを貼付することを許可</li> </ul>
	国際フェアトレード原料調達制度 (FSI)	ブランドオーナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者が、認証原料の調達拡大目標を設定・宣言し、長期的に調達量の拡大を目指す制度</li> </ul>
登録	完成品輸入・販売登録	完成品の輸入・販売事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外で最終製品化され、認証された製品を輸入・販売することを登録</li> </ul>

★今回紹介



※国際フェアトレード認証は、原料が最終製品化するまでに原料・製品の所有権を保持する組織が取得する必要があります

※国際フェアトレード原料調達制度は、ブランドオーナーが取得するケースが大半ですが、輸入・卸・製造事業者も取得可能です

今回ご提案する  
認証サービス

## 国際フェアトレード認証（トレーダー認証：製造）

**トレーダー認証（製造）は、貴社が国際フェアトレード基準を満たして  
[製造]を実施していることを認証するサービスです**

### サービス

#### ■ トレーダー認証（製造）

- 貴社が国際フェアトレード基準を満たして認証製品を製造していることを認証します



#### ■ その他連携サービス

- 弊団体ステークホルダー会合への参加
- 販路開拓・プロモーションに係るご相談対応
- 社内教育施策への協力



※1茶、カカオ、ジュース、砂糖は書類上のトレーサビリティのみが要求されています

### 認証の詳細

【フェアトレードサプライチェーン上の位置づけ】



#### 主な基準

##### ■ 認証原料・製品の物理的分別（※1）

- ✓ サプライチェーンの全ての段階において、認証原料(製品)を非認証原料(製品)と物理的に分別すること

**A**  
詳細

##### ■ 国際・国内労働法の遵守

- ✓ 国際労働機関（ILO）の協定及び国内の労働法について、違反の兆候がないこと

#### フェアトレード 開始までの 手続き期間

##### ■ 約2か月

FT原料・製品の取扱い開始後最大9か月間は「仮認証」となり、仮認証から約6か月以内に実施される初回監査を経て「認証取得」となります。

**B**  
詳細

#### 費用

- 初回認証料
- 年間認証料

**C**  
詳細

国際フェアトレード基準の全体像と  
製造業者に適用される基準

## 具体的な基準の例

## 1 一般要求事項

✓... 本認証に適用される基準

1.1 認証原料(製品)の取扱いの権利 ✓

1.2 国際フェアトレード認証ラベルの使用 ✓

## 2 取引

2.1 トレーサビリティ ✓

2.2 製品の配合割合 ✓

## 3 生産

3.1 労働者の権利 ✓

3.2 環境保護 ✓

## 4 ビジネスと発展

4.1 契約

4.2 価格とフェアトレードプレミアム

4.3 タイムリーな支払い

4.4 融資へのアクセス ✓

4.5 計画のための調達及び市場情報 ✓

4.6 リスクの共有

4.7 能力・組織基盤の強化 ✓

4.8 誠実に行われる取引 ✓

## 1.1.2. 監査の受け入れ

✓ 自社施設に対する告知あり/なしの監査を受け入れ、監査人に要求された情報開示を行うこと

## 2.1.1. 認証原料（製品）書類上の識別

✓ 購入と販売の書類（例：送り状、納品書、注文書）において、認証原料（製品）をフェアトレードとして明確に識別すること

## 2.1.3. 認証原料(製品)の物理的な分別

✓ サプライチェーンのすべての段階において、認証原料(製品)を非認証原料(製品)と物理的に分別すること

## 3.1.1. 国際・国内労働法の遵守

✓ 国際労働機関（ILO）の協定及び国内の労働法について、違反の兆候がないこと

## 3.1.1. 環境法の遵守

✓ 国内で適用される環境法規を認識していること（法規に従って、環境保護の指針や行動計画を定めている等）

- 認証製品・原料の取引開始までの手続に約2か月要し、契約締結後は報告や監査の受け入れが必要となります

## 認証製品の取引開始まで

1	申請書類の提出	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 下記の申請書類をメールでFLJに提出           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 様式A（国際フェアトレード認証申請書）</li> <li>➢ 様式K（認証に関する内容確認書）※原本又はスキャンファイル</li> <li>➢ 添付文書               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法人の登記簿謄本（コピー又はスキャンファイル）</li> <li>・ 事業概要がわかる書類（会社案内、パンフレット、活動報告書など）</li> <li>・ 会社全体の年間総売上高が確認できる書類</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
2	認証契約書の内容確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 書類審査後、FLJから送付される契約書の内容を確認する</li> </ul>
3	初回認証料の振込(契約締結)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 送付される請求書に従って、初回認証料を振込む（契約締結）</li> </ul>
4	契約書・仮認証書の受領	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 契約書、及び仮認証書が送付される（電子署名）</li> </ul>

国際フェアトレード基準を順守して、原料調達、製造、販売を開始

## 認証製品の取引開始後

時期	手続
1~2年毎	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 監査の受け入れ           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1~2年毎に、実地又は書類による監査を実施致します（認証サイクルは3年です）</li> <li>・ 初回監査は、左記4.仮認証書の発行後6か月以内に実施します</li> </ul> </li> </ul>
監査の時	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 原料購入・製造数量の報告           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ フェアトレード製品の原料購入・製造量に関して、指定のフォーマットで報告して頂きます</li> </ul> </li> </ul>
新規FT製品取扱い開始時	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 製品申請（※ライセンスより委任された場合）           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規製品が国際フェアトレード基準を満たすが審査するため、申請が必要となります</li> <li>・ 新規製品のレシピ等に関する申請と、パッケージのラベル使用に関する申請をオンラインでして頂きます</li> </ul> </li> </ul>

## 国際フェアトレード認証（トレーダー認証：輸入・卸・製造）の認証費用



- 年間総売上高は企業全体の売上高を指します
- 年間認証料には監査費用が含まれます
- 追加製品とは、コーヒー、紅茶、カカオなどのカテゴリーを指します
- トレーダー認証に加えてライセンスも取得する場合、製造認証の「初回認証料」は免除されます
- トレーダー認証の役割（輸入・製造・卸・製造）を複数兼務する場合でも料金は同じです

	費用(税抜き)			お支払の タイミング
	年間総売上高 100億円以上	年間総売上高 1億円以上100億円未満	年間総売上高 1億円未満	
初回認証料	<p><b>20万円</b></p> <p>(追加製品ごとに+3万円)</p>	<p><b>15万円</b></p> <p>(追加製品ごとに+2万円)</p>	<p><b>5万円</b></p> <p>(追加製品ごとに+1万円)</p>	契約締結時
年間認証料	<p><b>15万円</b></p> <p>(追加製品ごとに+3万円)</p>	<p><b>12万円</b></p> <p>(追加製品ごとに+2万円)</p>	<p><b>5万円</b></p> <p>(追加製品ごとに+1万円)</p>	毎年1月

# 国際フェアトレード認証 ライセンス

# ライセンス

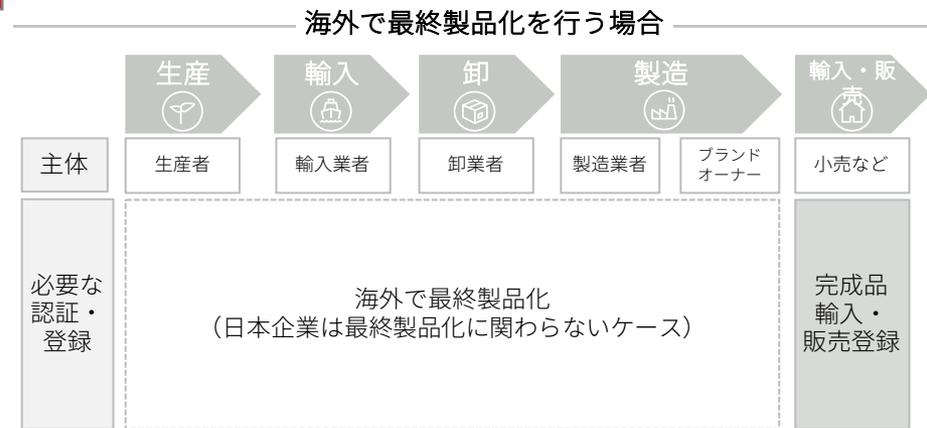
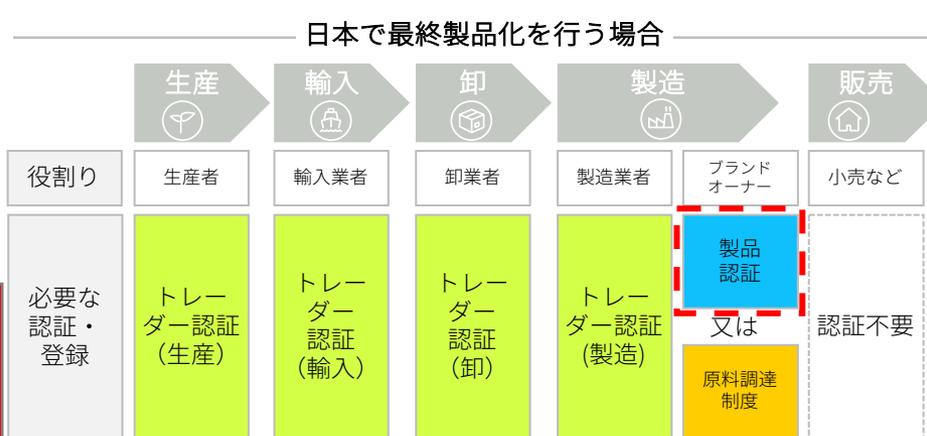
国際フェアトレード認証は、原料が最終製品化するまでに原料・製品の所有権を保持する組織が取得する必要があります

【国際フェアトレード認証サービスの全体像】

【サプライチェーンの各主体に必要な認証・登録例】

	サービス	対象	内容
国際フェアトレード認証	トレーダー認証 (輸入・卸・製造)	輸入・卸・製造事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者が、基準を満たして認証製品・原料の輸入・卸・製造を行うことを認証</li> </ul>
	製品認証 (ライセンス認証)	ブランドオーナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品が、認証製品であるための基準を満たすことを認証</li> <li>事業者が、認証製品に認証ラベルを貼付することを許可</li> </ul>
	国際フェアトレード原料調達制度 (FSI)	ブランドオーナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者が、認証原料の調達拡大目標を設定・宣言し、長期的に調達量の拡大を目指す制度</li> </ul>
登録	完成品輸入・販売登録	完成品の輸入・販売事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外で最終製品化され、認証された製品を輸入・販売することを登録</li> </ul>

★今回ご紹介



※国際フェアトレード認証は、原料が最終製品化するまでに原料・製品の所有権を保持する組織が取得する必要があります

※国際フェアトレード原料調達制度は、ブランドオーナーが取得するケースが大半ですが、輸入・卸・製造事業者も取得可能です

今回ご提案する  
認証サービス

ライセンス

ライセンスは、貴社の製品が国際フェアトレード基準を満たす製品であることを認証し、  
認証ラベルの使用権を付与するサービスです

サービス

認証の詳細

■ ライセンス（製品認証）※1

- 貴社製品に対して、国際フェアトレード基準を満たす製品であることを認証します
- 認証製品に、国際フェアトレード認証ラベルの貼付が可能となります



国際フェアトレード  
認証ラベル

■ その他連携サービス

- 弊社団体ステークホルダー会合への参加
- 販路開拓・プロモーションに係るご相談対応
- 社内教育施策への協力



【フェアトレード サプライチェーン上の位置づけ】



主な基準

■ フェアトレード認証原料の使用

- ✓ 2種類以上の原料から作られる製品の場合、入手可能な認証原料を最大限使用すること（※例外承認あり）
- ✓ 1種類の原料から作られる製品の場合、認証原料を100%使用すること（異なる産地のブレンド等は可）

A  
詳細

■ 認証原料が全原材料重量の20%以上である ※2

- ✓ 水・乳成分が50%を超える製品の場合は、水・乳成分を除いて計算

フェアトレード  
開始までの  
手続き期間

■ 約2か月

※FT原料・製品の取扱い開始後6年間は「仮認証」となり、6年後の初回監査を経て「認証取得」となります。

B

費用

- 初回認証料
- ライセンス料

C  
詳細

※1本サービスは、貴社の企画商品について国際フェアトレード基準を満たすことを認証するものであり、フェアトレード原料・製品の輸入・製造・販売を貴社が実施する場合は、別途トレーダー認証が必要になります

※2 コットン製品の場合は認証コットン50%以上を使用。  
ただし、ユニフォームは認証コットン30%以上。認証コットンの使用は不可。

国際フェアトレード基準の全体像と  
ライセンスに適用される基準

## 具体的な基準の例

## 1 一般要求事項

✓ ... 本認証に適用される基準

1.1 認証原料(製品)の取扱いの権利 ✓

1.2 国際フェアトレード認証ラベルの使用 ✓

## 2 取引

2.1 トレーサビリティ

2.2 製品の配合割合 ✓

## 3 生産

3.1 労働者の権利

3.2 環境保護

## 4 ビジネスと発展

4.1 契約

4.2 価格とフェアトレードプレミアム

4.3 タイムリーな支払い

4.4 融資へのアクセス

4.5 計画のための調達及び市場情報

4.6 リスクの共有

4.7 能力・組織基盤の強化

4.8 誠実に行われる取引 ✓

## 1.1.2. 監査の受け入れ

- ✓ 自社施設に対する告知あり/なしの監査を受け入れ、監査人に要求された情報開示を行うこと

## 1.2.1. 認証ラベルの使用

- ✓ 各認証製品のパッケージや販促物における認証ラベルの使用について、FLJに申請し許可を得ていること

## 2.2.1. 「可能な限りすべて」のルール

- ✓ 2種類以上の原料から作られる製品の場合、最大限の種類 of 原料において、認証を受けた原料を使用する
  - 品質不十分や供給不安定等の理由による例外適用可能
- (関連) 1種類の原料から作られる製品の場合、認証原料を100%使用すること
  - 異なる産地の認証コーヒー豆のブレンド等は可

## 2.2.2. 認証原料最低含有率

- ✓ 認証原料が全原材料重量の20%以上であること
- ✓ (コットン製品の場合は50%以上)
  - 加工前の重量をベースに計算
  - 水・乳成分が50%を超える製品の場合は、水・乳成分を除いて計算

※上記基準のうち、本認証に適用されない基準は、サプライチェーン上の貴社以外の組織が、他に認証を通じて遵守することで、フェアトレードを成り立たせています

※認証製品・原料は、国際フェアトレード認証を取得した事業者から購入する必要があります

※2.2.1や2.2.2の遵守が困難な場合は、原料調達制度の認証取得をご検討下さい

■ 認証商品の取引開始までの手続に約2か月要し、契約締結後は報告や監査の受け入れが必要となります

### 認証商品の取引開始まで

1	申請書類の提出	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 下記の申請書類をメールでFLJに提出               <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 様式A（国際フェアトレード認証申請書）</li> <li>➢ 様式K（認証に関する内容確認書）※原本又はスキャンファイル</li> <li>➢ 添付文書                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法人の登記簿謄本（コピー又はスキャンファイル）</li> <li>・ 事業概要がわかる書類（会社案内、パンフレット、活動報告書など）</li> <li>・ 会社全体の年間総売上高が確認できる書類</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
2	ライセンス契約書の 内容確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 書類審査後、FLJから送付される契約書の内容を確認する</li> </ul>
3	初回認証料の 振込	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 送付される請求書に従って、初回認証料を振込む</li> </ul>
4	契約書・仮認証書の受領	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ FLJから契約書及び仮認証書が送付される</li> </ul>
5	製品申請・ラベル使用申請	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オンライン申請システムより、製品の認証及び認証ラベル使用許可を取得する</li> </ul>

### 認証商品の取引開始後

時期	手続
4半期毎	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 販売数量の報告               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ フェアトレード認証製品の販売数量を、オンラインシステムより四半期ごとに報告して頂きます</li> </ul> </li> </ul>
約3年毎	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 監査の受け入れ               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 約3年毎に、実地又は書類による監査を実施致します</li> <li>※認証サイクルは6年です</li> <li>※輸入・卸・製造の認証も同時に取得する場合は、そちらの認証サイクル、監査頻度が適用されます。</li> </ul> </li> </ul>
新規FT製品取扱い開始時	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 製品申請               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規製品が国際フェアトレード基準を満たすか審査するため、申請が必要となります</li> <li>・ 新規製品のレシピ等に関する申請と、新規製品のパッケージ上のラベル使用に関する申請が必要です</li> </ul> </li> </ul>

国際フェアトレード基準を順守して、認証製品の販売を開始

C

## ライセンス認証の認証費用

- 年間総売上高は企業全体の売上高を指します
- ライセンス料は、主に生産者支援・フェアトレード普及活動に充てられます
- 追加製品とは、コーヒー、紅茶、カカオなどのカテゴリーを指します
- トレーダー認証に加えてライセンスも取得する場合、製造認証の「初回認証料」は免除されます

		費用(税抜き)				御支払の タイミング
		一般ライセンシー			小規模※2 ライセンシー	
		年間総売上高※1 100億円以上	年間総売上高 1億円以上100億円未満	年間総売上高 1億円未満		
初回認証料	20万円 (追加製品ごとに+3万円)	15万円 (追加製品ごとに+2万円)	5万円 (追加製品ごとに+1万円)	3万円 (追加製品料金なし)	契約締結時	
ライセンス料	製品小売価格の 1%相当  ※上記金額が5万円未満の場合は、ライセンス料を5万円とする	製品小売価格の 1%相当  ※上記金額が5万円未満の場合は、ライセンス料を5万円とする	製品小売価格の 1%相当  ※上記金額が3万円未満の場合は、ライセンス料を3万円とする	製品小売価格の 1%相当  ※上記金額が2万円未満の場合は、ライセンス料を2万円とする	四半期毎  ※小規模ライセンシーは年に一度、一括支払い	

※2 小規模ライセンシーの定義：次の3条件を満たす組織

- ①年間総売上高が1億円以下である
- ②最終製品の製造と販売もしくは販売のみを行い（原料の卸販売なし）、ブラドオーナーとして認証ラベルの貼付を行う
- ③生産者からペイヤー（最低価格とプレミアムを支払う立場）として、認証原料・製品の輸入をしていない

# Appendix

# 各組織の取得すべき認証（サプライチェーン全体像の例）

コーヒーのサプライチェーン（例）

	組織	取得する認証
生産 	<b>生産者組織A</b> コーヒー豆（生豆）の生産	生産者認証 （生産者・コーヒー）
輸入 	<b>商社B</b> コーヒー豆（生豆）を生産者組織から買い取り、日本へ輸入	トレーダー認証 （輸入・コーヒー）
卸 	<b>卸売企業C</b> コーヒー豆（生豆）を商社から買い取り、卸売り	トレーダー認証 （卸・コーヒー）
製造 	<b>焙煎事業者D</b> コーヒー豆（生豆）を焙煎し、パッケージに詰め、認証ラベルを貼付（自社ブランドで最終製品化）	トレーダー認証 （製造・コーヒー）  ライセンサー （コーヒー）
販売 	<b>カフェE</b> コーヒー豆（最終製品）を日本の業者から仕入れ、カフェ店舗で抽出してコーヒーを販売	認証・登録不要

チョコレートのサプライチェーン（例）

	組織	取得する認証
生産 	<b>生産者組織A</b> カカオ・砂糖の生産	生産者認証 （生産者・カカオ）  トレーダー認証 （生産者・砂糖）
輸入 	<b>商社B</b> カカオ・砂糖を生産者組織から買い取り、日本へ輸入	トレーダー認証 （輸入・カカオ）  トレーダー認証 （輸入・砂糖）
製造 	<b>メーカーC</b> チョコレートの商品企画を行い、製造事業者D（自社ブランドで最終製品化）	トレーダー認証 （製造・複合材料製品）
	<b>製造事業者D</b> メーカーCの注文に従いチョコレートを製造、パッケージに詰めて認証ラベルを貼付	ライセンサー （複合材料製品）
販売 	<b>小売店E</b> チョコレート（最終製品）を日本の業者から仕入れ、自社店舗で販売	認証・登録不要

# エシカル市場の成長

エシカル商品を購入したい人は8割にまで上昇。  
さらにコロナ禍も経て意識が上昇している

今後**エシカル商品を購入したい**人の割合は  
**8割**にまで上昇

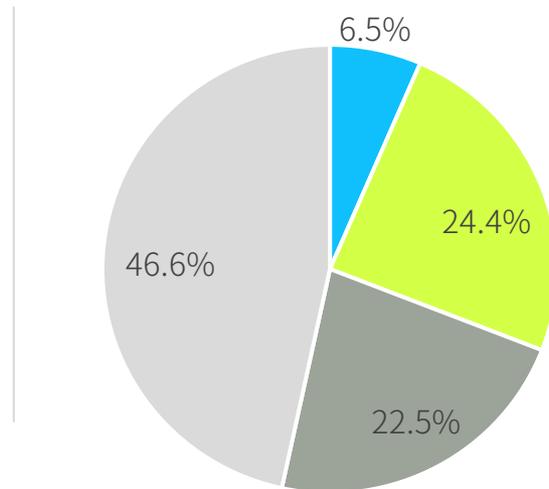
**コロナ禍**を経て、**3割**の人が  
エシカル消費をより意識するように変化

Q. あなたは、これまでにエシカル消費につながる商品・サービスを購入したことがありますか。また、今後も購入したいとおもいますか。（お答えは1つ）



- これまで購入したことがあり、今後も購入したい
- これまでに購入したことはないが、今後は購入したい
- これまで購入したことがあるが、今後は購入したくない
- これまでに購入したことはなく、今後も購入したいと思わない

Q. 新型コロナウイルス対策の自粛期間を経て、エシカル消費をより意識するようになりましたか。



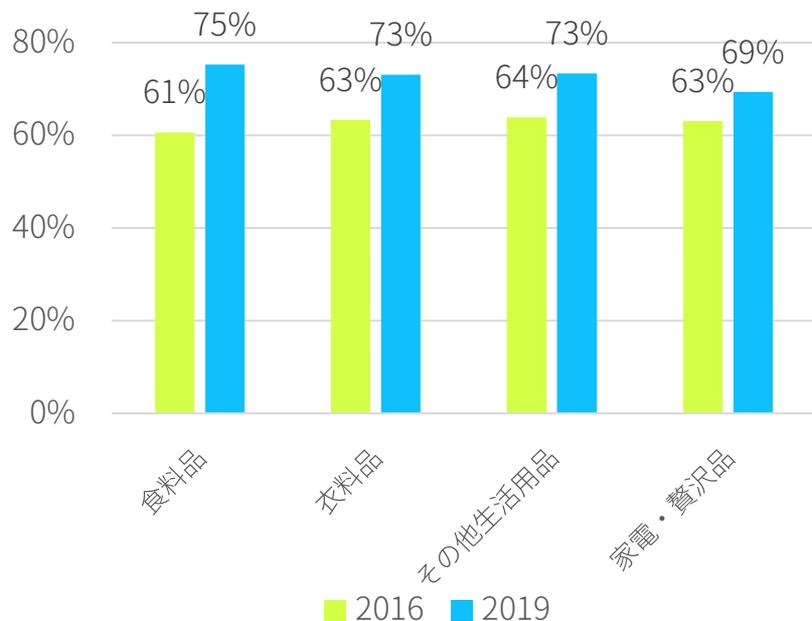
- より意識するようになり、行動に移している
- より意識するようになったが、行動に移すほどではない
- 以前より意識しており、新型コロナウイルスが原因で意識の変化はない
- 一色していない、意識しなくなった

# エシカル商品は高くても買う傾向

## 「エシカル商品化」は商品単価の引き上げに繋がる

エシカル商品は通常商品よりも  
**割高でも購入する人が7割を超える**  
(2020年)

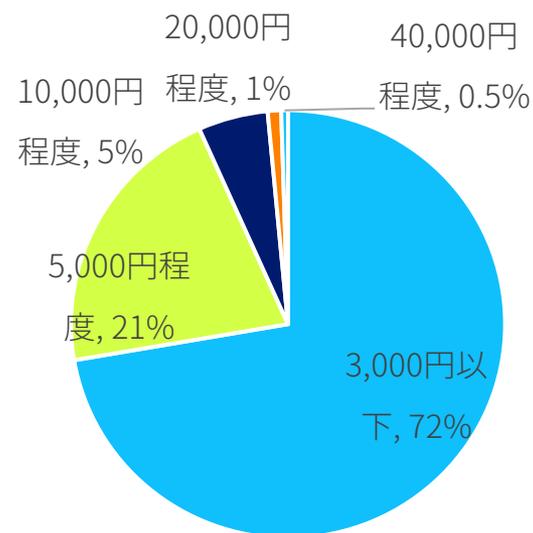
エシカル商品・サービスが通常の商品・サービスより  
割高でも購入すると答えた人の割合 (2020年)



出所: 消費者庁 (2020) 「令和元年度エシカル消費に関する消費者意識調査報告書」をもとにフェアトレード・ラベル・ジャパン作成

ソーシャルプロダクツ購入者の  
一人当たり**月平均購入額は4,139円**  
(2020年)

ソーシャルプロダクツ購入者の  
一人あたり購入額 (月)



出所: 一般社団法人ソーシャルプロダクツ普及推進協会(APSP) 「生活者の社会的意識・行動」に関する調査

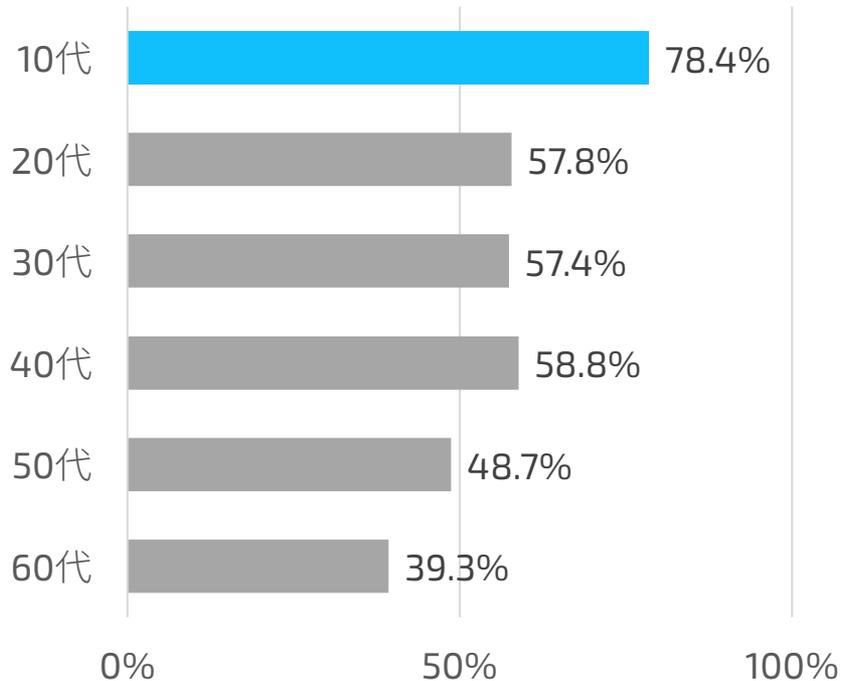
# 若者世代に対する訴求に繋がる

フェアトレードは若者の中で認知度が特に高く、Z世代の関心も高い



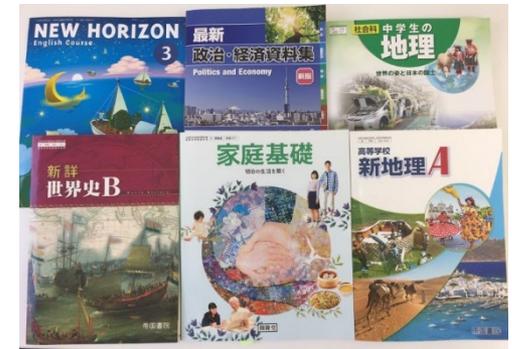
フェアトレードの**知名度**は  
**10代**で約**8割**に上る

フェアトレードの知名度 (2019年)



## ■教育やアニメコンテンツにより認知UP

- ▶ 小・中・高校の教科書にフェアトレード掲載（経済、歴史、地理、英語、家庭科など）  
高校・大学入試でも出題



- ▶ 2020年、人気アニメ「おジャ魔女どれみ」映画のテーマの1つにフェアトレード登場

主人公の1人が  
「フェアトレードプロ  
ジェクトの商社社員」  
という設定



出所:一般社団法人日本フェアトレード・フォーラム

# ESGの文脈でもフェアトレード言及

「ESGブランド調査」の代表的な評価項目にフェアトレードが入るなど、ESGの文脈でも言及されている



- 「ESGブランド調査」の代表的な評価項目にフェアトレード採用  
日経BPによる「第1回ESGブランド調査」(2020)
- フェアトレードはSDGsの17の目標全ての達成に貢献。中でも特に8つの目標への貢献度が高い

Feature ESGブランド調査2020

女性登用、**フェアトレード**で評価  
社会イメージランキング

2020.11.09  
小林 佳代 (ライター)

#気候変動

#ガバナンス

約2万人にESG「環境ブランド」を広げ、「インゴ」の特徴を付けて高い評価

■ 調査で尋ねた社会(S)の設問

	プラスイメージ
1	バワハラやセクハラの対策や防止教育を実施
2	非正規労働者やマイノリティに対する差別が職場にない
3	女性の雇用に積極的・女性が幹部に登用
4	労働災害の防止など従業員の安全や健康に配慮
5	働き方改革を進め、長時間労働や残業の削減に努力
6	人材育成や従業員教育に積極的である
7	子育てや介護、闘病などと仕事を両立できる仕組みあり
8	製品の安全性に配慮している
9	原料のトレーサビリティを確保している
10	サプライチェーン全体で人権保護や労働基準順守を推進
11	社会や地域への貢献活動を行っている
12	<b>フェアトレードなど社会的格差や貧困問題の解消に積極的</b>

社会 (S) 観点の評価項目12個の1つにフェアトレードが位置づけられた



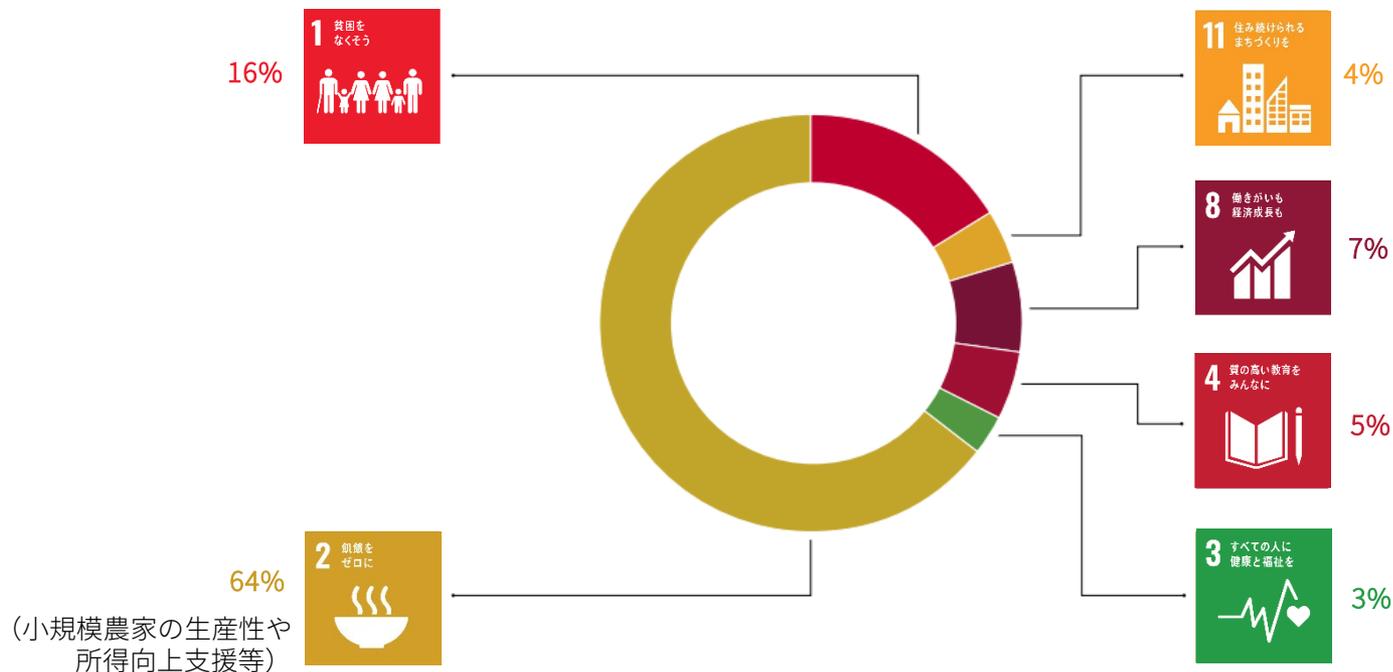
## 【フェアトレードが特に大きく貢献するSDGs目標】

- |  |   |
|--|---|
| <p><b>1 貧困をなくそう</b></p> <p>・生産者と労働者の生活保障により貢献</p>                                      | <p><b>12 つくる責任 つかう責任</b></p> <p>■ <b>持続可能な消費と生産</b></p> <p>・環境や生産者の生活に配慮した生産・消費促進により貢献</p>    |
| <p><b>2 飢餓をゼロに</b></p> <p>・生産者と労働者の生活保障により貢献</p>                                       | <p><b>13 気候変動に具体的な対策を</b></p> <p>■ <b>気候変動への対策</b></p> <p>・土壌や水源の保全、電力使用削減基準等により貢献</p>        |
| <p><b>5 ジェンダー平等を實現しよう</b></p> <p>■ <b>ジェンダー平等</b></p> <p>・プレミアム(奨励金)の女性支援への活用により貢献</p> | <p><b>16 平和と公正をすべての人に</b></p> <p>■ <b>平和と司法へのアクセス</b></p> <p>・生産者を教育し企業・政府への発言力を養成する事等で貢献</p> |
| <p><b>8 働きがいも経済成長も</b></p> <p>■ <b>労働環境</b></p> <p>・労働環境配慮や児童労働禁止等の基準により貢献</p>         | <p><b>17 パートナリシップで目標を達成しよう</b></p> <p>■ <b>パートナーシップ</b></p> <p>・生産者・企業・政府の連携を促すことで貢献</p>      |

# フェアトレードプレミアム使途 SDGsカテゴリー分類



目標2関連（小規模農家の生産性や所得向上支援等）の使途が半数以上  
ほかにも貧困や教育のSDGs目標に寄与する活動に活用



小規模農家のための農業機材、肥料、倉庫施設の整備、および生産者組合基盤強化のための活動を目録2「飢餓をゼロに」に分類  
(国連のSDGs目標2は、小規模農家の農業生産性の向上や所得向上支援を含むため)

※数字は四捨五入されている為、合計は100%になっていません。  
※本グラフはフェアトレードプレミアムの使われた活動を、国連の持続可能な開発目標 (SDGs)における17の目標で分類したものです。  
詳細情報：[www.fairtrade.net/impact/fairtrade-premium-spending-by-sdg](http://www.fairtrade.net/impact/fairtrade-premium-spending-by-sdg)

# コロナの影響とフェアトレード (1/2)

## 生産国からの輸出が困難となり、 生産者の財政及び健康状態にも影響



コーヒー

- 南米を中心に、コーヒー豆の収穫・輸送・輸出に影響
- 医療施設へのアクセスが制限された遠隔地に住む生産者が多いため、**健康リスクが高い**



カカオ

- 西アフリカでは作物の輸送と輸出ができず、**農家は収入を得られない状況**
- 適切なヘルスケアが不足しており、**健康リスクが高い**



茶

- 注文のキャンセル、出荷の大幅な遅延、オークションの中止や延期により、**セクター全体に経済的影響あり**



コットン

- ロックダウンによるミル等の閉鎖により、**生産者の収入に影響**
- 通常5月に開始する播種のための**種子供給に遅れが発生**



花

- 輸出の約7割を占める欧州への航空輸送が困難となり、多くの労働者が**失業又は強制休暇を取得しなければならない状態**
- 農家は十分な影響を取るための収入を得られないことで、**健康リスクが高まる可能性**

## フェアトレードインターナショナル による救援基金設立

- 2020年5月9日、コロナ感染拡大への施策として、2つの基金の設立を発表
  - 生産者救済基金  
(Fairtrade Producer Relief Fund)
  - 生産者復興基金  
(Fairtrade Producer Resilience Fund)

企業や政府から  
世界総額19.6億円を調達し  
直接支援を実施

日本でもクラウドファンディングを実施



# コロナ影響とフェアトレード (2/2)

コロナ禍にもフェアトレードの仕組みと絆で  
コミュニティを守った生産者たち



スリランカのスパイス生産者組合  
組合メンバーと地域のために食料を支給

Photo: SOFA



パキスタンのスポーツボール生産団体  
マスク・消毒液・手袋などの医療キットを配布



ガーナのカカオ生産者組合  
手洗いの水や消毒液のほか、感染予防啓発ポスターの配布も



**FAIRTRADE**  
JAPAN